

『犯罪や非行が減るといいな』

小城市立牛津小学校 5年 ^{おお} ^や ^ゆ ^な 大屋由奈

私はテレビや新聞なので毎日のように、犯罪や事件の事を耳にします。それを聞くと胸がいたくなってしまいます。私の身の周りでは起きたことはありませんが、悲しいしこわかったらうなと思います。犯罪や非行に走る人の理由は何だろうと思い、本やインターネットで調べてみました。すると、「家庭問題や発達障害、いじめなどの周囲からの孤独」が原因としてあげられていました。言葉がむずかしくてお母さんに聞いてみると、少年院に入って人が再犯を起こす人と更生する人のちがいは「手料理」を食べてきたかで異なると講演会で聞いたそうです。今はコンビニエンスストアや飲食店がたくさんあることで、お母さんや家族の作る手料理が少ない家庭もあるそうです。私もたまに外食をするときはうれしいですが、やっぱりお母さんやおばあちゃんが作る手料理が一番大好きです。食べると心が温かくなるので、その気持ちが分かるような気がします。また、生まれつき脳機能障害による発達障害で犯罪を起こしてしまうのはすごく複雑な気持ちになります。私が一番に関係がある「いじめ」についてです。私達の学校ではいじめのアンケートがあります。いじめは何となく言葉や行動にしたことで、相手をきずつけることがあります。私もきずついたことがあります。逆にきずつけたことがあるかもしれません。私は、お母さんや先生などがすぐに助けてくれたので悲しい思いをすることが少なくてよかったです。なやんでいる時に相談する人がいなかったら私も非行に走るかもしれないと思います。自分がされていやなことはしない、言わない。もしもしてしまったらすぐにあやまろうと思います。

犯罪はゆるされることではありません。でもきちんと罪をつぐなった後、二度と起こしてはいけないので、周りのみんなが声をかけたり相談に乗ったりすることで社会からの孤独を感じる事が減ると思います。犯

罪や非行が少なくなるためには、人との関わりが大切だと思います。家族だけではなく、友達や地域の人とのつながりもあります。私の地区にも夏祭りや町民運動会などがあります。顔を見ると自然にあいさつをします。また、毎朝通学路に立って事故にあわないように見守ってくれるおじさんがいます。小学一年生の時不安で登校している私に「おはよう。今日もがんばってね。」と声をかけてハイタッチをしてくれたので笑顔で登校することができました。雨でもいてくれてとても感謝しています。おじさんの顔を見るとホッとするし、心強いです。私は周りのみんながいてくれて孤独を感じたり、不安にならずに生活できている事を幸せだなと思います。当たり前だと思ってはいけないなと改めて思いました。

みんなが協力して社会を明るくしていけたらいいなと思います。今はみんなから助けてもらう事が多いですが、大きくなったらいじめなどを受けてつらい思いをしたり、一人でなやんでいる人の学校に連絡したりしてその人の力になりたいです。